

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
【環境政策課】		<p>琵琶湖環境行政企画調整費 46,046 (64,150)</p> <p>国 20,750</p> <p>⊖ 25,296</p> <p>琵琶湖環境行政の企画および総合調整を行う。</p> <p><b>新挑1</b> 自然資本の地域活動やビジネスへの活用事業 41,644 [国、⊖] (-)</p> <p>国立環境研究所琵琶湖分室と連携し、琵琶湖の生物分布や水環境の可視化に向けた連携研究を実施する。また、これらの研究成果を多様なステークホルダーの協働による地域での保全事業等に活用するとともに、ビジネス化に向けたモデル構築を進めることで、自然と経済が両立する持続可能な地域発展とネイチャーポジティブの同時達成を推進する。</p> <p>①国立環境研究所琵琶湖分室との連携研究 34,087 国立環境研究所の知見を活かした共同研究委託 34,000 委託先：国立研究開発法人国立環境研究所</p> <p>②科学的根拠に基づく保全アクション推進事業 2,557</p> <p>③滋賀自然共生ビジネス創出支援補助金 5,000 補助率：1／2以内 補助対象：企業、大学、NPO団体等の法人</p>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
環境政策推進費	49,056 (35,290)	<p>持続可能な社会づくり推進に向けた取組を実施する。</p> <p>1 「びわ湖の日」活動推進事業 17,946 〔国、繰、<math>\ominus</math>〕 (12,771) 「びわ湖の日」をきっかけとして、県民をはじめとする多くの人に琵琶湖の価値を認識してもらい、環境を守るための活動を促すため、学校・企業等と連携を図りながら、琵琶湖と関わり学ぶ機会を創出するとともに、広く琵琶湖の多様な価値を発信する。 また、琵琶湖の保全活動や歴史、文化を県外の方に知ってもらい、琵琶湖への関心を醸成するため、滋賀デスティネーションキャンペーンと連携した情報発信を行う。</p> <p>新①「びわ湖の日」DC連携発信事業委託 9,218 委託先：民間</p> <p>②「びわ湖の日」環境啓発イベント実施委託 2,137 委託先：民間</p> <p>③インバウンドを対象とした湖北で「びわ活」体験事業委託 4,500 委託先：民間</p> <p>2 自然体験を通じた環境学習推進事業 5,000 [繰] (5,000) 子どもの自然体験や環境学習の機会を増やすため、子どもを対象とした自然体験イベントを開催するとともに、環境保全活動を行う若者同士がつながる機会を提供することで、若者による環境活動の盛り上げやボトムアップを図る。</p> <p>自然体験を通じた環境学習推進業務委託 4,279 委託先：民間</p> <p>3 しが環境学習担い手育成事業 2,861 [繰] (2,930) 環境学習の担い手不足や高齢化といった課題に対応するため、これまで県が実施してきた人材育成事業に参加した指導者を主な対象とする活動支援事業を実施するほか、新規からトップ層までを対象とした質の高い人材育成講座を実施することで、今後も県内で長く活躍する指導者（環境リーダー）を育成する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
試験研究費 (琵琶湖環境科学研究中心)	201,344 (232,146)	<p>琵琶湖環境科学研究中心第八期中期計画に基づき、琵琶湖と滋賀県の環境に係る3つの基本的課題である「琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用」「環境リスクの低減による安全・安心の確保」「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会・ネイチャーポジティブの実現に向けた取組」に対応する試験研究を推進する。</p> <p>新挑1 試験研究の推進 49,724 〔国、財、緑、諸、○〕 (-)</p> <p>(1) 気候変動が琵琶湖の生態系と物質循環にもたらす影響に関する研究 21,646 〔国、財、緑、○〕 (-)</p> <p>良好な水質と豊かな生態系の両立に向け、気候変動が琵琶湖の生態系や物質循環に及ぼす影響を明らかにする研究を実施する。水産資源に関しては、気候変動の影響によるプランクトンの季節的増減の変化と、アユ仔魚の琵琶湖への流下時期との関係等について水産試験場と連携した検証を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>第9期湖沼水質保全計画の水質予測シミュレーションに 係る委託 5,000 委託先：民間</p> <p>気候変動による琵琶湖への影響評価モデル機能拡張業務 委託 4,500 委託先：民間</p> </div>

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
管理運営費 (琵琶湖博物館)	<p>723,545 (567,271)</p> <p>国 10,500</p> <p>使 105,453</p> <p>緑 57,358</p> <p>諸 4,226</p> <p>起 308,100</p> <p>⊖ 237,908</p>	<p>琵琶湖博物館の管理運営を行うとともに、効果的な広報を行う。</p> <p><b>挑1 琵琶湖博物館戦略的魅力度発信事業 21,000</b> [国、⊖] (21,000) 博物館の認知度を向上させ、より多くの利用を促進するため、メディアへの宣伝活動や動画配信等を通じて、琵琶湖博物館の魅力度を効果的に発信する。</p> <p><b>長2 長寿命化等推進事業 295,011</b> [緑、起、⊖] (109,203) (1) 琵琶湖博物館老朽度・健全度調査および改修基本計画策定支援委託 53,174 [緑] (-) 専門的知見に基づく劣化診断等の建物調査を実施するとともに、中長期的な保全計画の策定および改修基本計画策定に向けた検討を行う。</p> <p>老朽度・健全度調査委託 53,174 委託先：民間</p>
調査・資料収集事業費 (琵琶湖博物館)	<p>179,491 (163,863)</p> <p>国 2,507</p> <p>使 38,319</p> <p>寄 7,000</p> <p>緑 6,500</p> <p>諸 23,150</p> <p>起 37,500</p> <p>⊖ 64,515</p>	<p>「湖と人間」について、幅広いテーマで研究・調査に取り組むとともに、成果の発信、博物館資料としての活用、水族資料の管理等を行う。</p> <p>1 研究調査の実施 20,572 [寄、緑、諸、⊖] (20,976) 琵琶湖の生成や、琵琶湖と人々の関わりに関する研究に取り組むとともに、琵琶湖地域の自然、歴史および暮らしの研究・調査を総合的に推進する。</p> <p>2 デジタルミュージアム推進事業 15,083 [国、⊖] (20,450) いつでも、どこでも琵琶湖博物館の資料・標本の閲覧を可能にするため、琵琶湖博物館の資料・標本をデジタル化し、ホームページで公開するとともに展示に活用する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
展示事業費 (琵琶湖博物館)	120,265 (92,965)	<p>研究・調査の成果や地域に根ざした身近な話題を材料として、人と自然の関わり等について展示を行う。</p> <p>1 開館30周年記念国際シンポジウムおよび企画展示の開催 23,126 [使、<math>\ominus</math>] (7,967) 国際シンポジウム「(仮)シーボルト江戸参府200周年記念 水辺環境の未来のために『記録』を残すこと」および企画展示「(仮)魚類学者が見た琵琶湖－未来へつながる新種発見の旅－」を開催する。</p> <p>2 展示を活用した子ども若者学習支援事業 1,500 [寄] (-) 企業等寄附により、若い世代に対して博物館展示を通じた自然や環境に対する学びを深めてもらう事業を実施する。</p> <p>3 特別ミュージアムツアー造成事業 12,000 [国、<math>\ominus</math>] (-) 滋賀デスティネーションキャンペーンのプレ企画として、旅行専門企業等と調整の上、博物館の価値を活用したツアーの開発・造成を行い、販売するとともに、全国に発信する。</p> <p>特別ミュージアムツアー造成委託 12,000 委託先：民間</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
【琵琶湖保全再生課】		
琵琶湖総合保全対策費	1,730,924 (173,455)	琵琶湖の保全再生の推進に必要な調査・事業を実施する。
国	85,726	1 早崎内湖再生事業 198,966 [国、繰] (131,420) 琵琶湖の生態系の保全や自然とふれあう場の創出のため、かつて干拓された早崎内湖の再生を目指し、内湖再生工事（南区での築堤工事や樋門の詳細設計）のほか、生物環境調査や湛水地保全管理等を行う。
財	10,230	
寄	900	
繰	122,940	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-right: 10px;"> ①内湖再生工事 ②生物環境調査、湛水地保全管理等 </div> <div style="flex-grow: 1; text-align: right;"> 190,503 8,463 </div> </div>
⊖	1,511,128	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-right: 10px;"> 2 マザーレイクゴールズ推進事業 7,870 [繰] (8,000) 琵琶湖版SDGsであるマザーレイクゴールズ（MLGs）を推進するため、「みんなのBIWAKO会議」やワークショップを開催するほか、SNS等を活用した情報発信を行う。また、令和8年度はMLGs策定5年目であることから、目標年である令和12年に向けた取組の加速化を図るため、これまでの取組の中間評価を行う。 </div> <div style="flex-grow: 1; text-align: right;"> 7,870 </div> </div>
		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-right: 10px;"> 3 「世界湖沼の日」制定を契機とした情報発信・連携推進事業 5,052 [繰、⊖] (23,043) 「世界湖沼の日」制定を契機とし、持続可能な湖沼管理の推進に向け、海外関係者等との交流イベントやワークショップの開催、第11回世界水フォーラムへの参画等を通じ、琵琶湖の保全再生の取組やMLGs等を国内外に発信するとともに、自治体・企業・団体等の連携を推進する。 </div> <div style="flex-grow: 1; text-align: right;"> 5,052 [繰、⊖] (23,043) </div> </div>
		<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-right: 10px;"> 4 琵琶湖管理基金積立金 1,510,230 [財、⊖] (-) 琵琶湖の保全再生に関する事業を実施するため、琵琶湖管理基金に積み立てる。 </div> <div style="flex-grow: 1; text-align: right;"> 1,510,230 [財、⊖] (-) </div> </div>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
水質保全対策費	44,189 (40,715)  国 14,600  ④ 29,589	1 西の湖における水質改善実証モデル事業 14,600 [国] (14,600)  水質悪化やアオコの発生が頻繁に見られる西の湖において、水質悪化の原因究明を進め、アオコの発生抑制に向けて水質および底質の改善に係る実証実験等を実施する。
ヨシ群落保全事業費	37,391 (29,444)  国 12,444  寄 3,600  繙 865  起 10,600  ④ 9,882	琵琶湖のヨシ群落が持つ多様な機能が健全な形で発揮されるよう、ヨシ群落保全条例および「ヨシ群落保全基本計画」に基づき、適切な保全策を講じる。  1 ヨシ群落保全管理事業 32,160 [国、寄、繙、起、④] (24,215)  湖国らしい郷土の原風景であり、人々に安らぎを与え、生物の成育や生息の場となるなど様々な機能を有するヨシ群落の保全・再生のため、県民や事業者等の多様な主体と連携し、造成、適切な維持管理や普及啓発等を実施する。  <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1; text-align: right;">           ①ヨシ群落の造成            ②ヨシ群落の維持管理・普及啓発等  <b>新挑</b>③地域参画によるヨシ群落保全の推進         </div> <div style="flex: 0.5;">           19,322            5,338            7,500         </div> </div> 2 ヨシ群落維持再生事業 4,812 [④] (4,810)  健全なヨシ群落を保全・育成するため、ヤナギの伐採等の維持管理を実施する。

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
水草刈取事業費	203,828 (214,711)  財 5,072  繼 169,613  ④ 29,143	<p>水草の大量繁茂が生活環境や生態系などに深刻な影響を与えるため、水草の表層刈取りや根こそぎ除去を実施する。また、刈り取った水草は農地で有効利用し、資源循環を図る。</p> <p>1 水草刈取事業 109,705 [財、繩、④] (104,970)            夏季の水草大量繁茂による航行障害や悪臭などの生活環境への悪影響を軽減するため、緊急性や公共性の高いところから計画的に表層刈取りを実施する。</p> <p>①水草刈取業務委託 48,534            委託先：民間</p> <p>②水草刈取業務管理・有効利用等委託 61,171            委託先：公益財団法人淡海環境保全財団</p> <p>2 水草除去事業 92,950 [繩] (97,690)            水草大量繁茂による湖流の停滞、湖底の泥化など自然環境や生態系への悪影響を改善するため、南湖で水草の根こそぎ除去を実施する。</p> <p>①水草除去業務委託 52,679            委託先：滋賀県漁業協同組合連合会</p> <p>②水草除去業務管理・有効利用等委託 40,271            委託先：公益財団法人淡海環境保全財団</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
琵琶湖レジャー対策費	25,896 (19,238)	<p>琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例に基づき、琵琶湖での適正なレジャー利用を推進し、環境負荷の低減を図る。</p> <p>1 プレジャーボートの航行規制 11,506 [使、寄、諸、<math>\ominus</math>] (9,037) 住居や水鳥の営巣地などへの騒音を防止する水域や、プレジャーボートの曳き波による水産動物の増殖・養殖場への被害を防止する水域等を航行規制水域として指定し、同水域内におけるプレジャーボートの航行の取締りを湖岸および湖上から行う。</p> <p>2 外来魚のリリース禁止 10,189 [寄、<math>\ominus</math>] (8,271) ボックス、いけすでの回収を行うとともに、主に県内の小中学生を対象としたびわこルールキッズ事業や、釣り業界団体との共催による釣り大会等を実施し、外来魚のリリース禁止の普及啓発を行う。</p> <p>④3 琵琶湖のレジャー利用に係る歳入確保 186 [寄] (-) 琵琶湖の持続的な活用のため、琵琶湖のレジャー利用者に協力金を呼び掛けるとともに、キャッシュレス決済サービスを活用し、琵琶湖のレジャー関連施設等において協力金を募る仕組みを構築する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
【循環社会推進課】		
循環型社会形成推進費	99,760 (80,906)	廃棄物の3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進するとともに、サーキュラーエコノミー（循環経済）への移行を目指して、循環型の消費行動やライフスタイルへの転換を図る施策を推進する。
財	939	1 産業廃棄物発生抑制等推進事業 80,872
繰	47,366	〔財、繰、 $\ominus$ 〕 (65,041) 滋賀県産業廃棄物税を産業廃棄物発生抑制等推進基金へ積み立て、リサイクル製品の認定および普及促進、サーキュラーエコノミーの実現に向けた実証事業の実施、先進的な研究開発、施設整備等の支援に活用するとともに、3Rの先進取組事例の情報発信等により産業廃棄物の発生抑制と資源化を進める。
$\ominus$	51,455	<div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-left: 10px;">         サーキュラーエコノミー推進実証事業委託 16,500          委託先：民間       </div>
		2 ごみゼロしが推進事業 13,151 [繰、 $\ominus$ ] (13,965) プラスチックごみや食品ロスの削減を県民運動として推進するため、「しがプラスチックチャレンジプロジェクト」による普及啓発や、事業者の取組支援、フードドライブの推進等により、県民や事業者の実践取組を促進する。
		3 災害廃棄物処理体制強化事業 1,606 [ $\ominus$ ] (1,747) 大規模災害に伴う災害廃棄物の発生に備えて、「滋賀県災害廃棄物処理計画」を適正に運用するための訓練・研修等を行い、本県における災害廃棄物処理体制の強化を図る。

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
産業廃棄物対策事業費	172,291 (168,890)	<p>産業廃棄物の適正処理を推進するため、処理業者や排出事業者に対する監視、指導等を行うとともに、産業廃棄物の不適正事案に対して、迅速かつ厳正な対応を行い、県民の安全で快適な生活環境を保全する。</p> <p>国 21,573</p> <p>使 30,376</p> <p>緑 37,886</p> <p>（-） 82,456</p> <p>1 産業廃棄物適正処理対策事業 25,456 [国、使、緑] (31,788) 産業廃棄物処理業者やP C B 廃棄物保管事業者等に対して、適正処理に関する指導、啓発等を行う。 また、第六次廃棄物処理計画等を策定するとともに、廃棄物適正処理に向けた調査を行う。</p> <p>2 最終処分場特別対策事業 95,516 [国、（-）] (91,048) 旧アール・ディエンジニアリング最終処分場について、引き続き周辺住民の安全・安心を確保するため、地下水等のモニタリング、浸透水の浄化処理および構造物の維持管理を行うとともに、跡地利用の検討等を進める。</p> <p>3 産業廃棄物不法投棄防止対策事業 22,296 [緑] (21,047) 産業廃棄物の適正処理に関する普及啓発や、休日夜間の業者委託によるパトロールに加え、地域住民など多様な主体との協働による監視体制を整備することで未然防止を図るとともに、産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理事案に迅速かつ厳正に対応する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
【下水道課】		
流域下水道計画調査費	28,066 (65,811) ④ 28,066	<p>新挑1 県市町・上下水道連携の推進事業 25,861 [④] (-) 県と市町、上下水道の連携・経営強化のため、事故・災害時に備えた上下水道共同訓練計画や、維持管理の効率化に向けた共同化発注計画、経営のあり方について検討を進める。</p> <p>〔 県市町・上下水道連携の推進事業委託 25,861 委託先：民間 〕</p>
汚水処理施設整備促進事業費	74,373 (74,373) ④ 74,373	<p>1 下水道終末処理場高度処理施設維持管理費補助金 20,971 [④] (18,792) 公共下水道の下水道終末処理場において、琵琶湖の水環境を保全するため、窒素・リンの除去を行う高度処理施設の維持管理事業に対して補助金を交付する。</p> <p>〔 補助率：3／10 補助対象：4市5処理場（大津市、近江八幡市、甲賀市、高島市） 〕</p> <p>2 汚水処理施設整備接続等交付金 53,402 [④] (55,581) 公共用水域の水質保全を図るため、汚水等の汚濁負荷削減を目的とした4つの事業を実施する市町に対して支援を行う。</p> <p>(1) 公共下水道接続事業 26,244 [④] (28,957) 〔 補助率：25／1000 補助対象：6市1町（長浜市、近江八幡市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市、竜王町） 〕</p> <p>(2) 凝化槽設置整備事業 14,459 [④] (15,921) 〔 補助率：1／3等 補助対象：10市5町（大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、守山市、甲賀市、野洲市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、甲良町、多賀町） 〕</p> <p>(3) 公共下水道整備事業 11,127 [④] (9,029) 〔 補助率：10／1000等 補助対象：6市（彦根市、長浜市、甲賀市、高島市、東近江市、米原市） 〕</p> <p>(4) 公共下水道高度化事業 1,572 [④] (1,674) 〔 補助率：50／1000等 補助対象：4市（彦根市、長浜市、東近江市、米原市） 〕</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
【森林政策課・ びわ湖材流通推進課・ 森林保全課】		
森林計画費	31,023 (31,211) 国 1,750 ＝ 29,273	<p>1 衛星画像による森林管理推進事業 7,600 [＝] (6,000) 県全域の衛星画像が搭載されるシステムを活用し、山地災害等の森林の変化をモニタリングするとともに、森林病害虫等の被害をAIで解析することにより効果的・効率的な森林管理を行う。</p> <p>衛星画像利用システム運用保守業務委託 7,600 委託先：民間</p>
琵琶湖森林づくり事業費	1,509,148 (1,527,778) 国 205,900 財 556 寄 50 繰 562,742 ＝ 739,900	<p>「琵琶湖森林づくり基本計画」に基づき、森林づくり県民税を充当し、環境を重視した森林づくりと県民協働による森林づくりを実施する。</p> <p>1 陽光差し込む健康な森林づくり事業 405,900 [国、繰] (412,428) 森林の公益的機能を高めるため、環境林の整備や除間伐を行うとともに、スギ・ヒノキの種子生産などを行う。</p> <p>①環境林整備事業 43,349 ②農地漁場水源確保森林整備事業 340,000 ③スギ・ヒノキ採種園の育成管理 13,650</p> <p>2 次世代の森創生事業 20,200 [繰] (17,613) 森林の適切な更新を図り、次世代の森林の育成を推進するため、架線系作業システムの導入や再造林における獣害対策、カーボンオフセットの取組に対して支援する。</p> <p>3 森林を育む間伐材利用促進事業 59,427 [繰] (53,927) 間伐材等の搬出・利用による森林資源の循環利用拡大を推進するため、間伐材等の仕分け、搬出するための作業道の開設や高性能林業機械等の利用に対して支援する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
		<p>4 災害に強い森林づくり事業 10,000 [繰] (10,000) 風倒木等被害対策としての予防伐採の実施や、里山における獣害防止機能の強化により、災害に強い森林づくりを目指す市町の取組を支援する。</p> <p>5 協働の森づくりの啓発事業 16,855 [繰] (14,823) 協働の森づくりを広く県民に普及啓発し、県民の意識に定着させることにより、森林をみんなで守り育てようとする意識の高揚、森づくりへの県民参加の拡大と気運醸成を図る。</p> <p>6 みんなの森づくり活動支援事業 6,145 [国、繰] (6,590) NPOや地域住民団体などが取り組む、里山整備等の森づくり活動や森林山村資源を活かした取組を支援する。</p> <p>7 未来へつなぐ木の良さ体感事業 115,569 [国、繰] (133,795) 住宅および公共施設を含む非住宅の木造化・木質化等の取組に対して支援するとともに、木育に取り組む人材の育成等を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>①びわ湖材を利用した住宅等の新設等に対する助成 55,419 補助率：定額等 補助対象：県産木材活用推進協議会</p> <p>②びわ湖材の非住宅建築物への利用促進 46,081 補助率：2／3等 補助対象：社会福祉法人等</p> <p>③木育推進強化事業 6,680</p> </div> <p>8 森林環境学習事業 134,546 [繰] (131,396) 小学校4年生を対象とした森林環境学習「やまのこ」や森林等の自然を活かした自然保育等を推進する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
森林経営管理市町等支援事業費	<p>153,207 (150,709)</p> <p>財 412</p> <p>縁 95,795</p> <p>⊖ 57,000</p>	<p>1 森林整備支援等基金積立金 57,412 [財、⊖] (60,081) 森林整備を実施する市町の支援等に必要な経費に充てるため、資金を積み立てる。</p> <p>2 森林・林業人材育成事業 54,195 [縁] (53,388) 新規就業者や既就業者、市町職員に対して、知識や技術の習得を図るため、「滋賀もりづくりアカデミー」を運営するとともに、林業事業体の人材育成に対して支援を行う。あわせて、若者や女性などの参画を目指した「人づくり」の検討を行う。</p> <p>①滋賀もりづくりアカデミー運営委託 48,928 委託先：滋賀県森林組合連合会</p> <p>②森林・林業キャリアスタート事業費補助金 3,600 補助率：定額 補助対象：林業事業体</p> <p>3 森林境界明確化支援事業 41,600 [縁] (37,240) 森林境界明確化に向けた合成公図の作成や森林情報アドバイザーの設置を行うとともに、市町等とリアルタイムに森林情報を共有し、森林管理等を推進するための森林クラウドシステムを運用する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
森林組合振興対策費	146,244 (140,259)	<p>1 しがスマート林業実践事業 16,043 [国、繩] (18,225)  高性能林業機械やＩＣＴなど最新技術を活用した、効率的で収益性の高いスマート林業を実践できる人材を育成することにより、県内全域で主伐・再造林による循環型林業を推進する。</p> <p>2 森林組合経営支援事業 100,000 [諸] (100,000)  立木および原木の買取等による素材生産を行うために必要な短期資金を貸し付ける。</p> <p>3 林業人材育成システム構築事業 11,632 [財、繩] (10,793)  県産材の安定的・効率的な供給体制を構築し、林業の成長産業化を実現するため、素材生産および木材加工流通を行う事業体が、地域における林業・木材産業の担い手としての役割を果たすことを目的に、人材育成を行う。</p> <p>新 4 森林組合経営力向上事業 9,966 [国、繩] (-)  管理会計（事業計画や日々の経営状況を数値情報により可視化・分析し経営判断を行う会計手法）を実践できる中堅職員を養成することにより、収益性の高い森林組合経営を目指す。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
「やまの健康」推進事業費	9,430 (13,119)  国 3,916  縁 5,514	1 「やまの健康」実践事業費 9,430 [国、縁] (2,669) 都市と「やま」をつなぎ、人や経済の循環を創出する「やまの健康」の実現に向け、都市部の企業や団体が「やま」に関わるためのコンソーシアム等を通じて具体的な地域との関わりを深め、農山村地域の活性化を推進する。
造林公社運営費	2,982,381 (2,965,204)  諸 36,880  ④ 2,945,501	一般社団法人滋賀県造林公社に対し、管理運営および森林整備に要する経費について出資金を支出するとともに、株式会社日本政策金融公庫に対し、免責的債務引受に基づく償還金を支出する。  1 出資金 221,812 [④] (199,753) 2 償還金 2,759,853 [諸、④] (2,764,563)

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)																					
林野関係公共事業	<p>2,638,013 (2,588,775)</p> <p>国 1,281,909</p> <p>分 3,000</p> <p>起 1,282,100</p> <p>⊖ 71,004</p>	<p>森林・林業関連の公共事業を実施する。</p> <p>1 補助公共事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>箇所数等</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助造林事業</td> <td>720ha</td> <td>820,500</td> </tr> <tr> <td>補助林道事業</td> <td>10路線</td> <td>153,866</td> </tr> <tr> <td>補助治山事業</td> <td>27箇所</td> <td>1,550,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>伊吹山山腹工 150,000 ※補助治山事業の内数</p> <p>2 単独公共事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>箇所数等</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単独林道事業</td> <td>10路線</td> <td>12,596</td> </tr> <tr> <td>単独治山事業</td> <td>20箇所</td> <td>101,051</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	箇所数等	予算額	補助造林事業	720ha	820,500	補助林道事業	10路線	153,866	補助治山事業	27箇所	1,550,000	事業名	箇所数等	予算額	単独林道事業	10路線	12,596	単独治山事業	20箇所	101,051
事業名	箇所数等	予算額																					
補助造林事業	720ha	820,500																					
補助林道事業	10路線	153,866																					
補助治山事業	27箇所	1,550,000																					
事業名	箇所数等	予算額																					
単独林道事業	10路線	12,596																					
単独治山事業	20箇所	101,051																					

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
【自然環境保全課】		
自然公園等管理費	85,417 (89,353)	自然公園施設等の維持管理や整備等を行う。 1 しがの自然公園魅力向上事業 20,000 [国、起、 $\ominus$ ] (25,890) 国 9,050 (1) 新旭浜園地再整備事業 19,000 [国、起、 $\ominus$ ] (15,400) 使 6,194 自然公園施設の魅力向上に向けて、新旭浜園地（高島市）の 再整備に係る工事を行う。 起 10,400 挑(2) 岡山園地通景伐採事業 1,000 [国、 $\ominus$ ] (1,000) $\ominus$ 岡山園地（近江八幡市）において、湖岸道路からの眺望を確 保し、魅力向上を図るため樹木伐採を行う。

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
自然環境保全推進費	<p>217,028 (190,758)</p> <p>国 31,800</p> <p>緑 23,657</p> <p>（-） 161,571</p>	<p>ふるさと滋賀の野生動植物との共生に関する条例に基づき、希少種の保護を図るとともに、外来種の防除対策を推進し、生物多様性の保全に向けた総合的な対策を推進する。</p> <p>1 野生生物保全対策事業 3,665 [（-）] (3,381) 「滋賀県で大切にすべき野生生物（滋賀県レッドデータブック2030年版）」の作成に必要な調査等を行う。</p> <p>新挑2 生物多様性しが戦略推進事業 5,192 [国、（-）] (-) 「生物多様性しが戦略2024」に基づき、企業等による保全地域の拡大等に向け、「しがネイチャー・ポジティブ・ネットワーク」を活用し、多様な主体による連携を進める。</p> <p>生物多様性しが戦略普及推進事業委託 5,000 委託先：民間</p> <p>3 侵略的外来水生植物戦略的防除推進事業 189,544 [国、緑、（-）] (170,302) 琵琶湖の生態系への影響が懸念されているオオバナミズキンバイやナガツルノゲイトウ等の侵略的外来水生植物について、戦略的な防除を行うとともに、希少種の生育環境等の保全事業に取り組む市町を支援する。</p> <p>4 外来生物防除対策事業 7,800 [国、緑、（-）] (500) 外来生物法に基づき、クビアカツヤカミキリ等既に国内に定着した特定外来生物の防除等を行う。</p> <p>5 巨樹・巨木林保全活用事業 6,489 [国、緑] (7,015) 琵琶湖源流域の水源の森における巨樹・巨木林の保全活動等に対して支援を行うとともに、エコツーリズムの推進に向けて、地域資源の掘り起こしと活用を図る。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
鳥獣対策費	29,424 (19,074)  国 19,508  (一) 9,916	<p>鳥獣保護管理事業計画に基づき、野生鳥獣の保護および管理ならびに狩猟の適正化に関する業務を総合的に実施し、適切な鳥獣の保護管理を推進する。</p> <p>1 ツキノワグマ第一種特定鳥獣保護計画推進事業 18,121            [国、(一)] (8,182)</p> <p>「ツキノワグマ第一種特定鳥獣保護計画」に基づき、適切な保護管理を推進するため、生息状況調査を実施する。また、人身被害を回避するため、出没予測調査を実施するとともに、緊急銃猟制度の適切な運用のため、市町の支援や県民への情報提供等の対応を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-left: 20px;">           ①特定鳥獣保護計画モニタリング調査事業委託（ツキノワグマ）            7,124            委託先：民間            ②指定管理鳥獣対策事業（クマ類総合対策事業） 10,907            補助率：5 / 6 以内等 補助対象：市町         </div> <p>2 獣害対策担い手育成事業 3,537 [一] (3,514)            捕獲技術者の確保および育成のため、射撃技能向上に資する講習を行う。</p>

単位：千円

事業名	当初予算額 (前年度予算額)	説明 [財源名]、(前年度予算額)
森林動物対策事業費	<p>281,206 (278,414)</p> <p>国 137,370</p> <p>県 123,383</p> <p>○ 20,453</p>	<p>ニホンジカ、ニホンザル、カワウおよびイノシシの第二種特定鳥獣管理計画に基づき、捕獲を中心に有害鳥獣対策を実施し、農林水産業被害や生態系被害等の軽減を図る。</p> <p>1 ニホンジカ対策事業 140,149 [国、県、○] (143,971) 市町等が実施するニホンジカの捕獲事業に助成するとともに、捕獲条件が厳しい奥山等でニホンジカの調査や捕獲を行う。</p> <p>湖国の森林と自然を守るニホンジカ特別対策事業 110,700 補助率：定額 補助対象：市町、地域獣害対策協議会、法人格を有する狩猟者団体</p> <p>2 ニホンザル対策事業 10,000 [○] (10,000) 市町等が実施するニホンザルの調査や捕獲事業に助成する。 補助率：1／2以内 補助対象：市町、地域獣害対策協議会</p> <p>3 カワウ対策事業 15,043 [国、県、○] (14,276) 市町等が実施するカワウの捕獲事業等に助成するとともに、竹生島等の大規模営巣地でカワウの捕獲を行う。</p> <p>①琵琶湖北部カワウ等対策事業 3,087 補助率：1／2以内 補助対象：竹生島タブノキ林の保全・再生事業推進協議会</p> <p>②新規コロニー等拡大防止カワウ対策事業 1,680 補助率：1／2以内 補助対象：市町、地域獣害対策協議会</p> <p>4 第二種特定鳥獣対策推進事業 116,014 [国、県、○] (110,167) ニホンジカ、イノシシおよびニホンザルについて市町等が実施する捕獲事業に助成するとともに、生息動向のモニタリング調査等を行う。</p> <p>鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業 101,570 補助率：定額 補助対象：市町、地域獣害対策協議会</p>

## 琵琶湖流域下水道事業会計

単位：千円（税込）

## 当初予算額および説明【収益的収支】

## 1 重点的取組事項

各市町から流入する汚水を処理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現する。

(1) 下水道施設（管渠、ポンプ場、処理場等）の維持管理 10,915,651千円  
 湖南中部処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務を行う。  
 湖西処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務の他、市と下水汚泥の共同処理を行う。  
 東北部処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務を行う。  
 高島処理区：施設の維持管理に係る委託、調達業務、修繕業務の他、市と下水汚泥等の共同処理を行う。

(2) 湖沼・水問題の解決に向けた国際協力と情報発信 2,905千円  
 県内企業の新規ビジネス展開および滋賀県の汚水処理技術の継承・発展を行うべく、閉鎖性水域の水環境問題を抱える海外地域を対象に現地調査と協議を行う。また、世界水フォーラムにおいて、琵琶湖の環境保全を通じて培った技術の発信等を行う。

## 2 業務の予定量

流域関連公共下水道の処理区域の存する市町	13市6町
年間総処理水量	157,670,960m <sup>3</sup>
一日平均処理水量	431,975m <sup>3</sup> /日

## 3 収益的収支額

		前年度予算額	当年度予算額
事業収益	A	20,431,600	23,981,000
営業収益		9,119,786	10,401,709
うち維持管理負担金		8,834,545	10,130,762
他会計補助金		116,462	101,427
受託事業収益		168,253	168,891
その他営業収益		526	629
営業外収益		11,311,814	12,713,291
うち受取利息及び配当金		550	9,100
他会計補助金		2,216,128	3,478,894
長期前受金戻入		9,043,206	9,122,404
雑収益		51,930	102,893
特別利益		—	866,000
事業費用	B	21,651,100	23,128,600
営業費用		21,131,461	22,592,125
うち管渠費・ポンプ場費・処理場費		9,428,996	10,746,760
受託事業費		168,253	168,891
総係費		385,697	422,351
減価償却費		10,991,337	11,199,821
資産減耗費		157,178	54,302
営業外費用		519,639	536,475
うち支払利息及び企業債取扱諸費		519,339	536,175
雑支出		300	300
差引収支	A-B	△ 1,219,500	852,400
資金収支		885,809	2,984,119

単位：千円（税込）

## 当初予算額および説明【資本的収支】

## 1 主な建設改良事業

生活環境の改善と公共用水域の水質保全ならびに都市の健全な発達を図るため、流域下水道建設事業を推進する。  
19,305,918千円

湖南中部処理区：下水汚泥燃料化事業（3号焼却炉改築更新事業）、汚泥脱水機更新工事、  
水処理設備増設工事、耐震補強工事（南大萱ポンプ場、北里ポンプ場、橋本ポンプ場）、  
ポンプ場改築更新工事（南大萱ポンプ場、橋本ポンプ場）、管更生工事（甲西北幹線）、  
公園魅力向上推進事業（矢橋帰帆島公園）[遊具更新111,500千円、園路整備4,000千円]

湖西処理区：水処理設備改築更新工事、自家発電機更新工事、沈砂池設備更新工事、  
ポンプ場改築更新工事（清水ポンプ場、木戸ポンプ場）、人孔防食工事（湖西北幹線）

東北部処理区：中央監視制御設備更新工事、受変電設備更新工事、  
管更生工事（愛東西幹線、彦根南幹線）、受変電設備更新工事（近江ポンプ場）、  
管渠築造工事（愛東東幹線、彦根南第二幹線、木之本西幹線）

高島処理区：水処理設備増設工事、汚泥処理設備改築更新工事、  
沈砂池設備更新工事（マキノポンプ場、安曇川ポンプ場）

## 2 資本的収支額

		前年度予算額	当年度予算額
資本的収入	A	16,970,000	20,898,300
企業債		3,950,100	4,956,000
県出資金		851,874	488,570
国補助金		9,200,603	11,719,905
建設負担金		2,922,123	3,608,575
他会計補助金		44,800	124,250
その他資本的収入		500	1,000
資本的支出	B	19,754,700	23,093,800
建設改良費		15,327,051	19,305,918
企業債償還金		3,770,775	3,787,882
返還金		656,874	—
差引収支 (損益勘定留保資金等で補填する)	A-B △	2,784,700	△ 2,195,500

## 3 年度末下水道事業債等残高見込み

	前年度予算額	当年度予算額
年度末下水道事業債等借入金残高見込み	43,632,411	44,800,529
年度末損益勘定留保資金等残高見込み	551,694	487,913